恵那市立山岡中学校で防災講座を行いました

令和５年１０月２５日（水）、恵那市立山岡中学校で全校生徒約７０名に防災講座を行いました。学校の体育館裏は土砂災害特別警戒区域に指定されています。

講座では、大人数のため、代表生徒６名がＶＲで、その他の生徒は映像で浸水を疑似体験し、ＶＲを体験した生徒からは、「実際に起きたら早く避難したい」「対策を考えておきたい」などの感想がありました。また、５１年前に山岡町で被害のあった昭和４７年７月豪雨災害について、当時の広報紙を活用しながら自分たちの住んでいる地域で起きた災害を学び、教訓として、災害に備えておく大切さを学んで頂きました。

最後に代表で挨拶した生徒からは、「講座を通して災害時の避難の大切さを知った。警報が出たら家族と避難したいと思った。」との感想を頂きました。

今回の防災講座が生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。